

## 平成 29 年産 紀南の梅産地情報

2017/03/07

1. 今年の梅の開花は、1月末から2月にかけて気温が下がり、南高の満開は、2月16日と平年より1～3日程度遅くなった。

南高と授粉樹小梅との開花はほぼ揃ったが、開花期間中の気象変動が大きくなり授粉状況が心配される。



(平地標準調査地 田辺市中三栖)

品種 \ 年	平年 (H19~28)	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	
小梅	開花始め	2/5~6	2/1~2	2/15~16	2/3	2/9
	満開期	2/13~15	2/10~11	2/21~22	2/14	2/18
	開花終期	2/25~2/27	2/27~3/1	3/2~3	2/27	3/1
	開花期間	23 日	29 日	17 日	25 日	21 日
古城	開花始め	2/13~14	2/11~12	2/21~22	2/12	2/18
	満開期	2/21~23	2/22~23	2/28~3/1	2/18	2/26
	開花終期	3/5~6	3/5~6	3/9~10	3/8	
	開花期間	22 日	24 日	18 日	26 日	
南高	開花始め	2/5~6	2/3~4	2/15~16	2/3	2/7
	満開期	2/13~15	2/11~12	2/20~21	2/12	2/16
	開花終期	2/25~27	2/27~28	3/2~3	2/25	2/27
	開花期間	23 日	26 日	17 日	23 日	21 日
作 柄		低温生育遅れ 5月以降回復 豊作	開花期間短い 5月生育前進 やや不作	5月生育前進 やや不作		

2. 1月20日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、南高・古城では前年・平年並みであった。小梅では前年より多く、平年よりやや多くなった。

基準園の着蕾数 (1年枝100節当たりの平均着蕾数)

品種 \ 年	平成 29 年	平成 28 年	平年	前年比	平年比
小 梅	105.0	76.5	91.2	137%	115%
古 城	84.5	87.0	88.7	97%	95%
南 高	55.6	55.5	58.5	100%	95%

3. 今年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。